



# 吉田地区 住民自治協議会だより

46号

キャッチフレーズ 「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

発行責任者 水内 和義 編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会  
事務局住所 長野市吉田3-22-41 ノルテナがの2階 TEL 026-263-6224 FAX 026-266-0371

## 令和4年度 吉田地区成人式 令和5年1月8日



本日は、私たちの為にこのような式典を催してくださり、また、皆様より温かいお祝いの言葉をいただき、心からお礼申し上げます。

こうして私達が成人式という大きな節目を迎えられたのは、ここまで育ててくれた両親、苦楽を共にしてくれた友人、叱咤激励してくれた先生方、さまざまな形で見守ってくださった地域の方々のおかげです。本当にありがとうございます。

いつも温かく見守ってくださる全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、日々邁進いたしますのでご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

簡単ではございますが、これをもって新成人代表の挨拶とさせていただきます。

令和4年度 新成人代表 塩原 魁人

本日は、私たちのためにこのような式典を催していただき、また、皆様より温かいお祝いのお言葉をいただき、新成人一同、心より御礼申し上げます。

私たちが本日無事に成人を迎えることができたのも、ここまで成長を見守ってくださった先生方や地域の皆様、そして、家族のおかげであることを深く感謝申し上げます。

私たちの中にはすでに職業に従事している人や、学業に励んでいる人など立場は様々ですが、一人ひとりが自分の言動に責任を持ち、お世話になった方々への感謝を忘れずに、また現在先行きが不安な国内、国際情勢ではありますが、目標を見失わず日々精進していきたいと思えます。

まだまだ未熟な私たちですが、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

簡単ではございますが、これもちままして新成人代表の挨拶とさせていただきます。

令和4年度 新成人代表 中澤 玲奈



# 育成会委員会

## ヨシダクリスマスプロジェクト 2022

令和4年11月27日(日)～

12月24日(土)

信濃吉田駅 南北自由通路

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「クリスマスフェスティバル」に替えて、子どもたちが手作りしたクリスマスのオーナメントを展示する「ヨシダクリスマスプロジェクト 2022」を開催いたしました。各家庭で制作していただいた素敵なオーナメントがたくさん集まり、信濃吉田駅の南北自由通路の窓を約1ヶ月間、彩りました。



本年度も1年間、育成会委員会にご協力いただきまして、ありがとうございました。

### 令和4年度 成人式



### ようこそ 市長室へ

令和4年10月12日(水)に市長応接室で萩原市長と懇談を行いました。

吉田地区からは、水内会長、黒柳副会長、水倉副会長、徳武吉田東町区長、立岡吉田田町区長及び清宮広町区長が出席し、5点について要望しました。

①吉田公民館の計画的な施設改修について

今年度はホールの空調設備を改修する。その他は市全体の施設をみて順次予算化を判断する。

②公立中学校部活動の地域移行について

現在モデル校2校で実践研究している。課題として、保護者の費用負担増や指導者不足が見えてきた。国県の支援策が示されたら、市の支援策を検討していく。

③北部勤労青少年ホーム改築、体育館併設について

体育館併設は困難である。しかし、ヨガなどができる「軽運動室」を設置する。他の体育施設も含め利用しやすいようにする。

④災害時に市吉田支所や吉田高校に避難所を設置できないか。

吉田支所は現地震害対策本部になる場合があるため不適合である。吉田高校は、県教育委員会と相談している。前向きな話が出てきている。

⑤長野運動公園の改修について

テニスコートは、今年度から6年度までに順次改修する。体育館は、国民スポーツ大会開催に合わせて替える。また、アクアウイングは令和6年度から、改修を行っていく。





# 令和4年度 男性の地域デビュー歴史散歩講座

福祉委員会は、男性の地域デビュー講座として飯島哲也先生の講座を開催しました。



第1回



第2回

講師 長野市埋蔵文化センター 飯島哲也先生

講座では、吉田の歴史について埋蔵文化財による観点からのお話を伺いました。地区内には、埋蔵文化財も多くあり、お話は一回では終わることがなく、6月28日に続き、9月27日に第2回目の講座を開催しました。

## 保健委員会

今年度もコロナ禍の中、感染対策を取りつつ運動講習会を開催しました。

### 健康講座 運動講習会



- 6/8、11/9 「タオルを使ってストレッチ」
- 7/13 「ボールを使って健康体操」
- 8/10、10/12 「ヨガでリラックス」
- 9/14 「やさしい筋力トレーニング」
- 1/11 「ストレッチポールでリラックス」



各回、テーマを掲げていますが清水由佳指導士の楽しい会話とお持ち頂くトレーニング用品等を使い、体調に合わせて運動します。リズムに合わせてはつらつと体を動かしたり、じゃんけん運動で「右手が左手に勝つ」加えて「足は右手に勝つ」そんな両手足を同時に動かす脳トレにも必死に取り組みました。ヨガで美しいポーズに挑戦したり、深くゆったりした呼吸をすることで心が解放されます。

コロナ禍前のように大勢参加して頂ける日が一日でも早く来ることを願うばかりです。

### 5/23 委員研修会



## 福祉委員会

### 第1回

# 福祉健康フェスタ 開催

福祉委員会は例年実施されていた福祉バザーを令和4年度から新しく「福祉健康フェスタ」と名を変えて実施しました。フェスタの目的は、3年前の台風災害の復興支援、皆様の健康のためです。リンゴ販売等の販売ブースと福祉バザーブースを設け、被災地パネル展示も行いました。



パネル展示(被災地状況、ひまわり開花)



販売ブースの状況

催し物については、長沼こまち太鼓、広町太鼓会の太鼓演奏、落語、吉田地区ボッチャ愛好会によるボッチャ実演を行い参加者に観覧していただきました。



太鼓演奏(長沼こまち太鼓)



ボッチャ 試技



落語披露(ながのらくらく倶楽部)



太鼓演奏(広町太鼓会)



## 合同視察研修

### 区長部会・環境美化部会

令和4年10月7日（金）に区長部会と環境美化部会合同で長野広域連合が建設したごみ焼却施設「ちくま環境エネルギーセンター」と最終処分場「エコパーク須坂」を視察研修しました。

「ちくま環境エネルギーセンター」は、令和4年6月から稼働した施設で、1日100tのごみを焼却し、減量化と資源化のため、焼却した灰は、高温で溶かしガラス質の「溶融スラグ」にしているとのことでした。また、焼却時の熱を利用して発電を行い、センターで使用し余ったものは売電し、残った温水は隣のスポーツ施設の風呂などに利用していました。

次に、「エコパーク須坂」は、長野広域連合のごみ焼却場2施設（ながの、ちくま）の溶融スラグを埋め立て処分する施設で、令和3年2月から埋め立てを開始しています。

建設に当たっては地域の環境に配慮し、地中に雨水を浸透させない遮水シート、表面の雨水を管理するための処理施設や防災のための調整池を設置した施設でした。なお、この施設の利用年数は15年ということで、早くも次の候補地の選定を行っているとのことでした。

半日の行程でありましたが、普段何気なく出しているゴミですが分別や減量を行っていかねばならないと思いました。



## 防災研修会

毎年のように全国各地で「今まで経験したことのない降雨があった」や「観測史上初の降雨」などによる災害の報道がされています。また、今年は大雪の災害も各地で発生しています。浅川ダム completion、浅川の改良が済みましたが、1000年に一度の確率で予想される異常降雨時には、吉田地区では場所によって最大3メートルの浸水が予想されています。

災害のない平常時には、防災に関する知識の普及、地域の災害危険の把握、防災計画等の作成などを行い災害に備える必要があります。

今年度は、7月2日に行われた消防局の研修への出席のほかに、令和5年1月20日（金）に自主防災会連絡協議会と防災・防犯委員会の合同で、長野地方気象台田本防災管理官と長野県浅川改良事務所小山課長補佐を講師に、関係役員の研修会を行いました。

研修では、田本講師からは、地球温暖化の影響や異常降雨について、小山講師からは浅川で氾濫の起きた場合の災害予想について話がありました。

災害は無いことが一番いいのですが、日頃から災害に対する対応等を考えなければならぬと改めて感じました。



## 編集後記

今年度も余すところ1ヶ月ほどになりました。

この「自治協だより」46号が皆様のお手元に届くときには、そろそろ春の気配がそこそこに感じられていることでしょう。自治協の事業は、コロナ禍のため、ここ数年と同様多くの住民が参加するものは見送られました。新型コロナが世界規模で発生して3年が過ぎ、さすがに政府もコロナウイルスの位置付けを第2類から第5類へと見直しました。今後はインフルエンザと同じ扱いとなるということでしょう。

私達は日常生活も含めて自己判断に基づいて行動するということになりそうです。（編集委員会一同）